



広島県議会議員

くりはら俊二

県議会公明党ニュース

発行：公明党広島県議会議員団 担当者：栗原俊二

住所：広島市中区基町10-52 連絡先：☎082-513-4660 ✉s-kurihara@gikat.pref.hiroshima.jp



2022年 春号

<皆さまのご意見ご要望をお聞かせください。>

新型コロナウイルス感染症対策

湯崎知事に 緊急要望書を提出

1月18日



公明党広島県議団は1月18日、県庁内で湯崎英彦知事に対し、新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書を提出しました。党県議団は、新たな変異株「オミクロン株」の感染急拡大で、医療逼迫や社会機能の不全に陥る懸念があると指摘。その上で、①ワクチン3回目接種の円滑な実施と前倒し②保健所業務および相談体制の強化③自宅療養対応の拡充④抗原定性検査・PCR検査の体制強化⑤経口抗ウイルス薬の使用促進⑥社会機能の維持に向けた対策の実施——など7点を要請しました。湯崎知事は、要望事項について前向きに検討する考えを示しました。

ワクチン3回目接種の
円滑な実施など7点

子どもの未来を応援する施策の拡充など

2022年度予算編成に関する 要望書提出

昨年12月17日

公明党広島県議団は昨年12月に県庁内で湯崎英彦知事に会い、2022年度予算編成に関する要望書を手渡しました。要望書では、重点項目として①新型コロナ対策の推進②防災・減災・復興施策の充実③誰も置き去りにしないデジタル社会の構築④子どもの未来を応援する施策の拡充⑤核兵器廃絶に向け、2023年に日本で開催予定の先進7カ国首脳会議（G7サミット）の広島招致——の5点を挙げたほか、17分野計119項目を要請しました。湯崎知事は「貴重なご意見を取り入れ、予算調整を進めたい」と応じました。



安全に渡れる横断歩道の整備促進を!

12月定例県議会で

昨年12月15日

栗原俊二議員が一般質問

栗原俊二議員は、安全に渡れる横断歩道の整備促進を訴えました。2018年に横断中の高齢者が車にはねられ死亡した事故に触れ、「無信号2段階横断歩道」の整備促進を提案。これは中央分離帯部分に歩行者の待避所(交通島)を設け、信号のない横断歩道を2回に分けて横断してもらう方式で、「道路を片側車線ずつ横断するため横断距離が短くなり、交通島を経由することで片側車線のみの安全確認で横断。高齢者や障がい者、子どもにとって非常に有効だ」と主張しました。森内彰県警本部長は「22年3月に広島市安佐南区祇園の市道上に設置される予定だ」と説明し、「横断時の安全を確保する必要が認められる箇所について整備を進めたい」と答弁しました。



【一般質問での質問項目】

- 日本政府の核兵器禁止条約 批准に向けた環境整備について
- 新安川流域の浸水被害への対応について
- 広島神楽支援と神楽の魅力発信拠点整備について
- 安全に渡れる横断歩道の設置促進について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・次の感染拡大に向けた安心確保の取組
 - ・新型コロナの影響を受けた事業者への支援
 - ・ワクチン接種証明の活用
- コロナ後を見据えた中小企業の働き方改革の推進について
- 原油高騰の影響を受ける事業者への支援について
- 介護離職ゼロに向けたサポート体制の充実について
- ユニバーサルツーリズムの推進について
- グリーンライフ・ポイント制度の導入について

栗原俊二議員の活動紹介

公明党広島県議団
フォトニュース

斉藤鉄夫国土交通大臣に 地域課題を要望

昨年12月24日



豪雨災害現場を視察する 赤羽一嘉国土交通大臣(当時)に同行 広島市安佐南区安東亜ハイツ

昨年8月22日



北海道北広島市議会で 新球場建設誘致について調査

昨年12月23日



来年3月開業に向け
建設中の新球場(模型)

